

## 防災シンポジウム「集客施設における帰宅困難者対策」のご案内

「帰宅困難者対策」は、巨大過密都市東京における重要な災害対策の一つといえます。とくに2007年度以降、官民が協力して、主要ターミナル駅周辺地区における「帰宅困難者対策協議会」の設置や「一斉帰宅抑制」、「一時滞在施設」の指定などの対策を進めてきました。

2011年の東日本大震災では、帰宅困難者・徒歩帰宅者による混雑・混乱により、「①帰宅困難者対策協議会」や「②一斉帰宅抑制」、「③一時滞在施設」などに関する多くの課題が突き付けられました。

都市防災美化協会・防災都市計画研究所は、こうした「帰宅困難者対策」を取り巻く現状と課題等について、この度報告書にとりまとめました（下記参照）。

そこで、本シンポジウムでは、「帰宅困難者対策」をめぐるこれら3つの諸課題（論点）を取り上げ、2020年に開催予定の東京オリンピックも視野に入れて、「集客施設における帰宅困難者対策」と題したパネルディスカッションを開催することになりました。

時節柄ご多用とは存じますが何卒ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

◆ 日時 2016年1月15日（金）14時～16時

◆ 場所 緑と水の市民カレッジ3階

東京都千代田区日比谷公園 1-5 日比谷公園内

◆ 参加費 無料 先着100名様（要申込 別紙参加申込書）

◆ プログラム

1. 主催者挨拶 中島 宏（公益財団法人都市防災美化協会理事長）

2. パネルディスカッション

（1）コーディネーターより開題（10分）

○「帰宅困難者対策の現状と課題（論点提示）」・吉川忠寛（防災都市計画研究所長）

（2）各研究・活動の発表（40分）

①「帰宅困難者をとりまく問題群と自助対策（仮）」・名古屋大学准教授 廣井悠氏

②「大規模集客施設の安全対策（仮）」・東京大学教授 川口健一氏

③「新宿駅周辺における帰宅困難者対策（仮）」・工学院大学准教授 村上正浩氏

④「沿道コミュニティによる徒歩帰宅者支援の取組（仮）」・国道15号線徒歩帰宅者支援対策協議会副会長 岩崎健司氏、品川区防災まちづくり部防災課長 鈴木誠氏

（3）意見交換とまとめ（60分）

3. 閉会挨拶 吉川忠寛（防災都市計画研究所長）

（\*）公益財団法人都市防災美化協会、株式会社防災都市計画研究所は、2015年7月、『帰宅困難者対策の連携強化に関する調査研究—東日本大震災の検証結果を踏まえて—』を刊行しました。

この報告書を、当日先着50名様に、無料進呈致します。

◆ 主催 公益財団法人都市防災美化協会、株式会社防災都市計画研究所

◆ 後援 (公財)東京都公園協会、新宿駅周辺防災対策協議会、(一社)東京都造園緑化業協会

問合せ先

㈱防災都市計画研究所 Tel(03-3262-6376) Fax(03-3263-7053) Mail: kiyota@lusp.co.jp 清田修

(公財)都市防災美化協会 Tel/Fax(03-5202-2011) Mail: bo-bikajimu@cosmos.ocn.ne.jp 和田幸子